

関常幸 議会報告

第47号
2018.10

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



市民 皆で考える 新ごみ処理施設

南魚沼市・魚沼市・湯沢町では、2025年の稼働をめざして、新しいごみ処理施設の建設予定地を、大崎のボタン山のふもと・国際大学用地内とした。

選定理由は、①収集運搬距離が二市一町の間地点。②現2施設とほぼ同距離にあり、自家搬入する市民の負担もほぼ平等。③予定地は5.5haほどあり、可燃ごみ、不燃ごみ処理施設の建設に十分な面積が確保できる。また、現況が雑種地であり、農地転用の届けが不要。④予定地は坊谷山（ボタン山）の北側で、高速道路に囲まれたような立地。そして、穴地新田、八色原集落からも800m以上離れており、自然の木立を残したり景観にも優しい場所。⑤施設から生み出されるエネルギーは、国際大学をはじめ地域活性化（温浴施設等）のために利用可能。

3月から6月にかけて、大崎地域を中心に20会場で説明会を行なうが、建設予定地周辺の4集落で建設反対の大きな声上がる。

6月21日に南魚沼市長、議長、国際大学学長に「国際大学用地内のゴミ焼却場建設反対についての請願」が、穴地新田、八色原、海士ヶ島新田、柳古新田449名という多くの署名とともに提出される。4集落の18歳以上の住民比だと70%に近い数字だ。

反対の理由は、①ごみ運搬に利用される道路は、大崎、赤石、浦佐、三用、蕨神地区等の通学路でもあり、交通量が増え非常に危険な状況が想定される。②建設予定地周辺は、魚沼産コシヒカリのみならず、八色スイカ等の「八色ブランド」を産出し、産出額は20億円にもものぼる「八色ブランド」が風評被害を受け、甚大な被害をおよぼすことも考えられる。③今回のゴミ処理場建設に係る用地のみならず、次の拡張建設のための用地の買収を考えている。未来の世代を守るためにも反対する。

ごみ焼却場の建設については、「迷惑施設」と言われており、ほとんどの自治体で建設予定地周辺の住民が反対行動を起こす。東京では「東京ゴミ戦争」と言われるほど、住民と行政、または住民同士が争いを起こした。

次ページに続く

去る8月29日、穴地新田集落に大和地区議員7名と、建設反対の皆さん30数名と会合を持つが、国際大学内への建設反対が土台にあり、胸襟を開いた会議とならなかった……。しかし、この新ごみ処理施設は、未来に続く施設で行政と住民、または住民同士がしこりを残すようであってはならない。

市では11月下旬から2巡目の集落説明会や先進地視察を計画している。一巡目で寄せられた、みなさんの疑問、質問（環境汚染、交通渋滞、風評被害等）や、不安の一つ一つに回答を用意し集落に伺うはずだ。特に、反対に署名された方は出席いただき話を聞いていただきたい。

今は亡き八色原の先人、KさんとSさんの言葉を思い出す。八色原開拓の私たちは、未来の生活のために、常に新しいことへの挑戦であった……。

そして、この施設に付帯施設として、子供たちが食糧（食べ残しや飢餓人口）を考える学びの場を作ったらどうだろうか……。

9月議会（9月3日～21日）

9月議会は決算議会とも言われ、会期は19日間と長い。29年度一般会計決算（歳入339億円、歳出329億円）認定で、共産党2名と市政クラブ4名が決算を不認定・反対する。私の記憶では共産党以外の反対は過去にはなく、執行部は真摯に受け止めなくてはならない。

総務費で各種業務委託料5,470万円中の、まちづくり推進機構(MMDO)への委託料2,484万円の支出で、委託団体MMDOの使途（会議費、旅費）に疑義が合ったとはいえ、市政クラブの皆さんは、歳入339億円・歳出329億円に反対したことになった。もう少しやりようがあったのではないかと思った。

市長所信表明



- ・10月から「介護支援ボランティア制度」スタート。
- ・ゆきぐに大和病院と観光協会が連携し「ヘルシーツアー」を企画募集。
- ・大和庁舎の教育委員会10月9日から市民会館で業務開始。
- ・7月15日にスケートパークにおいて、日本スケボー連盟主催の大会を開催。
東京2020オリンピックの事前合宿地として期待。
- ・東京オリンピック聖火リレー、2020年6月5日6日の2日間、
県内12市町村で実施。当市も立候補し決定は来年夏ごろ。
- ・「ごみ焼却炉」施設の故障から、ゴミを長岡市・新潟市に運搬。
- ・新ごみ処理施設建設について、国際大学周辺集落への2巡目の説明会開催。
- ・交通事故は昨年より件数・負傷者数は減少しているが、死者数は2名。
昨年同時期0人であり、「交通死亡事故シャットアウト緊急対策」を実施。
- ・大和クリーンセンター（下水道）の長寿命化のための工事を実施。
マンホール蓋も計画的（今年330か所）に交換。
- ・地方創生事業で、浦佐地域に民間主導による居住施設整備が始まる。
 - ・JR浦佐駅に観光案内施設を整備する。

活動日誌 (7月下旬から10月上旬)



7.27 松原県議要望会



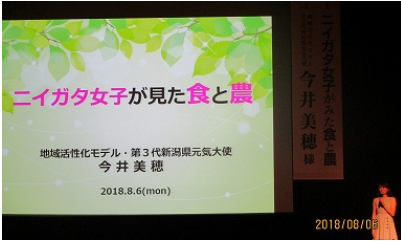
7.29 生ビール・あゆ祭り



8.3 長岡花火・フェニックス



8.6 井口一郎前市長
「旭日小綬章祝賀会」



8.6 中越地区市議会研修会
(見附市)



8.10 二市一町議会研修会
(湯沢町)



8.15 浦佐盆踊り仮装大会



8.16 浦佐招魂慰霊祭



8.16 戊辰戦争150年慰霊祭



8.20 新ごみ講演会



8.24 萌気園あやめ診療所
浦佐毘沙門通りに開院



8.25 故長島代議士宅
(山古志)



8.26 浦佐地区運動会



8.30 自民党大和支部役員会



9.1 新潟イチロウ会
(新潟市)



9.2 浦佐山岳マラソン大会



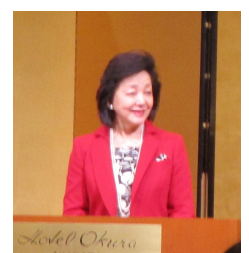
9.8 浦佐地区敬老会



9.17 自衛隊航空祭
小松基地(石川県)



9.20 中国成立69周年祝賀会
(新潟市)



10.6 桜井よしこ
講演会
(新潟市)

★ 塚田いちろう参議院議員「国政報告会」(10月14日)

10月5日に国土交通副大臣・内閣府副大臣・復興副大臣に就任し、初めてのお国入りが南魚沼市。

前日は、八色の森市民まつりに参加。多くの市民から「副大臣おめでとう」の声がかかる。

午前2か所(浦佐、藪神)、午後2か所(大崎、東)で国政報告をおこなう。

国土交通省は社会資本整備、交通、観光、海上保安など幅広い分野を担い、どれも皆さまの生活に直結している。国土強靱化を進め、安心安全な故郷をつくっていく。また、復興副大臣は昨年ご逝去された故長島忠美代議士が務めておられた。先生の志を継ぎ復興を加速していくと力強く語る。



一村尾担い手センター



八色の森市民まつりにて



松原県議も駆けつける。東開発センター



八色しいたけ視察

★ 友好都市「坂戸市」訪問(10月18日)

議員会で友好都市を訪れるのは、米沢市に次いで2回目。人口10万人の坂戸市は、都心から45km。

坂戸山が縁で、市政合併10年目の平成26年に友好都市提携を結ぶ。坂戸市議会と交流を行う。



石川清市長

皆さんこんにちは！
東京で地震が発生した時、南魚沼出身の方は、坂戸市に避難して来て下さい。体育館を用意します…。
裸押合大祭3月3日、来年は行きます……。

★ 戊辰戦争から150年 ご遺族がお墓参り(10月24日)

普光寺は、8月16日に「戊辰戦争150年慰霊祭」を2遺族11人が参加して、古戦場訪問・法要・講話・偲ぶ会を行なう。当日来れなかったとのことで、鹿児島からお出でになる。行年35歳で亡くなったご先祖(野崎さん)と初めて会うと言う。新潟には来れないと思っていたし、お墓を今日まで150年間お守りいただいた、地元の皆さまに感謝で、言葉がありませんと目に涙が一杯でした。



普光寺にて



●先日、浦佐が実家の関昭一元副知事と浦佐ヤナでお会いした。昭和50年から58年まで就任し、59年開業の新幹線浦佐駅をはじめ国際大学、北里学院、国際情報高校誘致にご尽力した方です。お元気でした。風邪など健康にご注意ください。

編集後記

シンポジウム

「裸押合」重文指定記念

- とき 11月4日(日) 午後1時30分から
- 会場 普光寺本堂

基調講演、パネルディスカッションをおこないます。

研究者、行政、地元それぞれの立場から、重要無形民俗文化財としての裸押合の文化的な価値や、今後どのように発展させていくか考えます。